

一般財団法人 FA財団

2020年度事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

1. 論文賞表彰事業

1. 令和2年（2020年）2月に行った7学会への推薦依頼に応じて、6月末日の締切までに論文賞候補17件が送られてきた。そこで、7月～8月に各審査委員に書面審査をお願いし、9月8日（火）に審査委員会（オンライン会議）を開催して授賞候補論文7件を選定してもらい、10月20日（火）の第23回理事会（書面審査）で授賞論文7件を最終決定した。12月11日（金）に霞山会館で開催した表彰式では、受賞者をはじめ、7学会関係者、来賓、役員・評議員・審査委員等、約60名の参加を得て、論文の著者に表彰状と副賞（1件100万円）を贈呈した。ただし、例年表彰式後に開催してきた技術交流会はコロナ禍拡大防止のために中止となった。
2. 審査委員会では、令和3年度以降の論文賞表彰事業全般についても意見交換を行い、論文賞の募集・審査・表彰のスケジュール、推薦依頼学会は今年度と同様で良いことになった。また、国際会議開催に関する援助については、当面の間、7学会が関与して国内で開催される、論文賞に関連の深い分野の会議に限定して、資金援助を検討することになった。
3. 令和3年（2021年）2月に、令和3年度の論文賞候補の推薦を7学会に依頼した。

2. 運営・管理体制

1. 6月30日に平成31／令和元年（2019年）度の決算に基づいて、公益目的支出計画実施報告書等を内閣府に提出した。
2. 平成元年3月の本財団創立から平成31年3月までの経緯と活動状況を纏めた冊子「FA財団30年の歩み」を印刷・発行して、各方面に配布した。
3. ファナック株式会社からの資金援助については、1月30日に2,000万円の振り込みがあったので、管理費として運用することを前提として収入の部に計上した。

以上

事業報告の内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない。